



東証1部 証券コード 3116

2020年度（2021年3月期）

期末 決算説明会

開催日：2021年4月28日

目次

1. 2020年度 決算状況
2. 2021年度通期 業績予想
3. 参考情報

目次

1. 2020年度 決算状況

2. 2021年度通期 業績予想

3. 参考情報

1-1) 2020年度 決算状況 連結決算概要

(億円)

	19年度 実績		20年度 実績		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	13,726	100.0%	12,721	100.0%	△1,004	△7.3%
営業利益	477	3.5%	571	4.5%	93	19.5%
税引前利益	480	3.5%	573	4.5%	92	19.3%
当期利益*	247	1.8%	311	2.5%	64	25.8%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益		132円88銭	166円93銭	34円05銭
為替レート	USドル	109円	106円	△3円
	1-円	121円	124円	+3円

売上収益

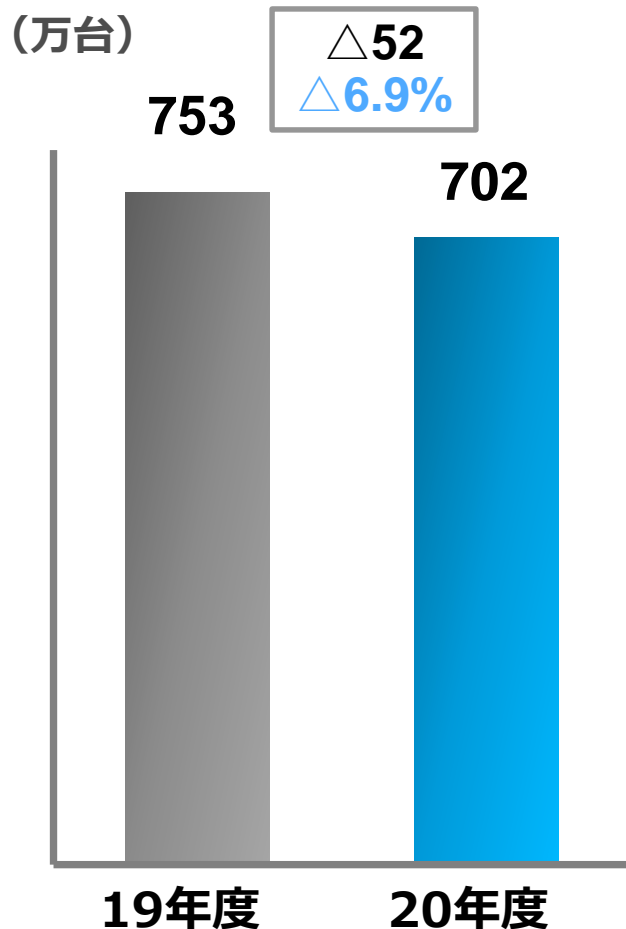
■ 主に第1四半期でのコロナ影響に伴う減収の一方、下期以降グローバルでの需要回復により減収額は縮小

営業利益

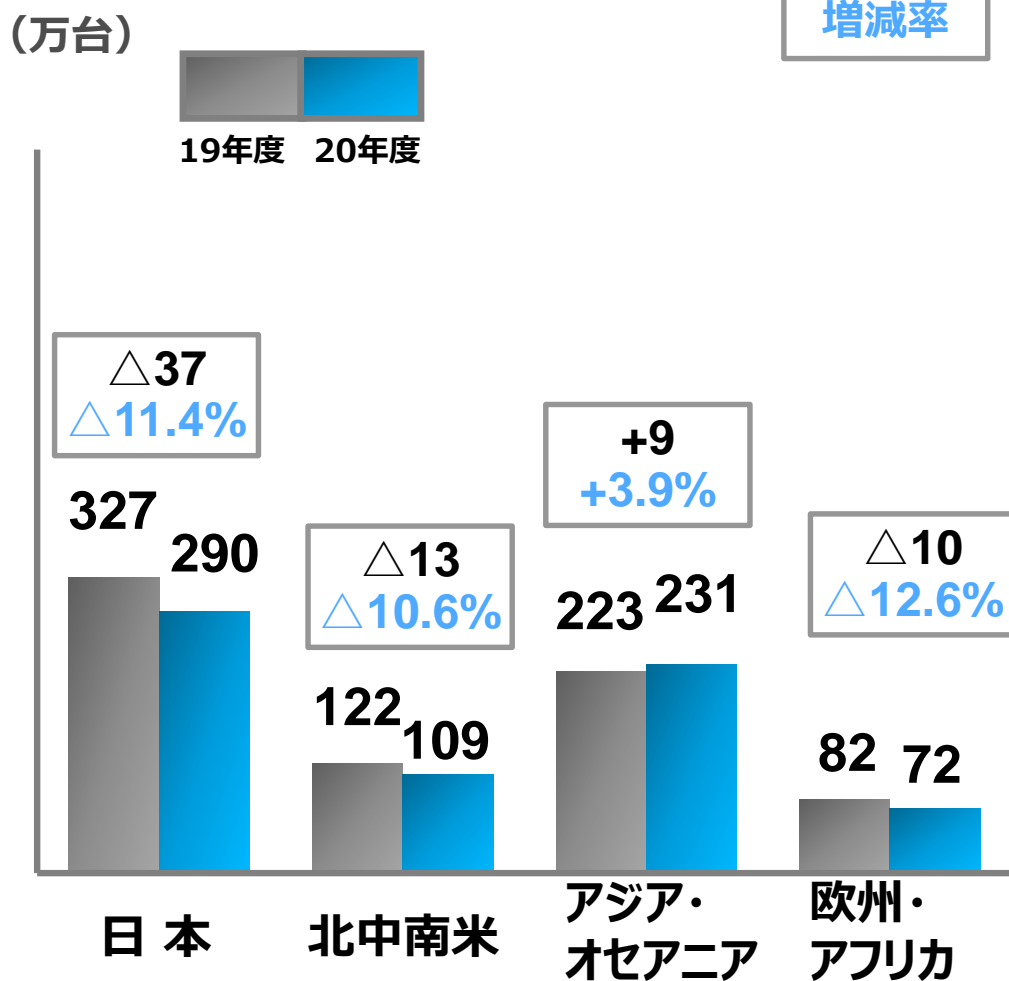
■ グローバルでの需要回復に加え諸経費効率化等の収益確保策により、下期は過去最高の営業利益

1-2) 2020年度 地域別シート生産台数

連結全体



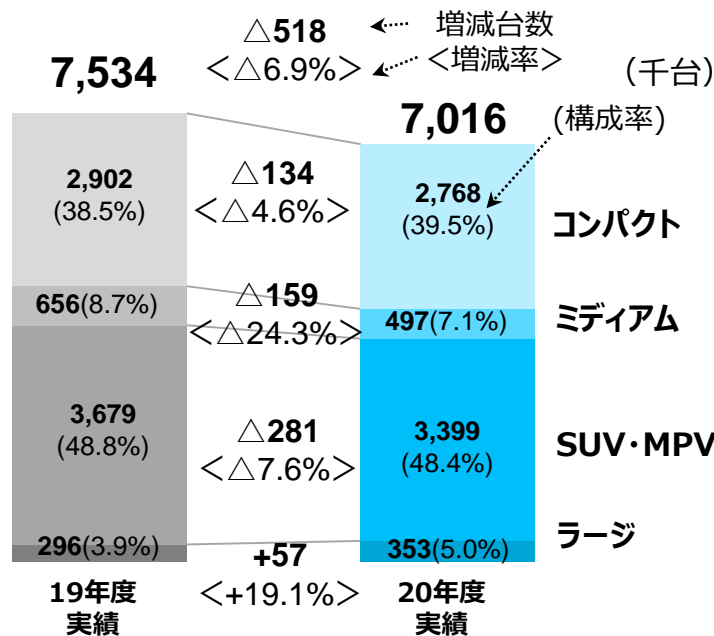
セグメント別



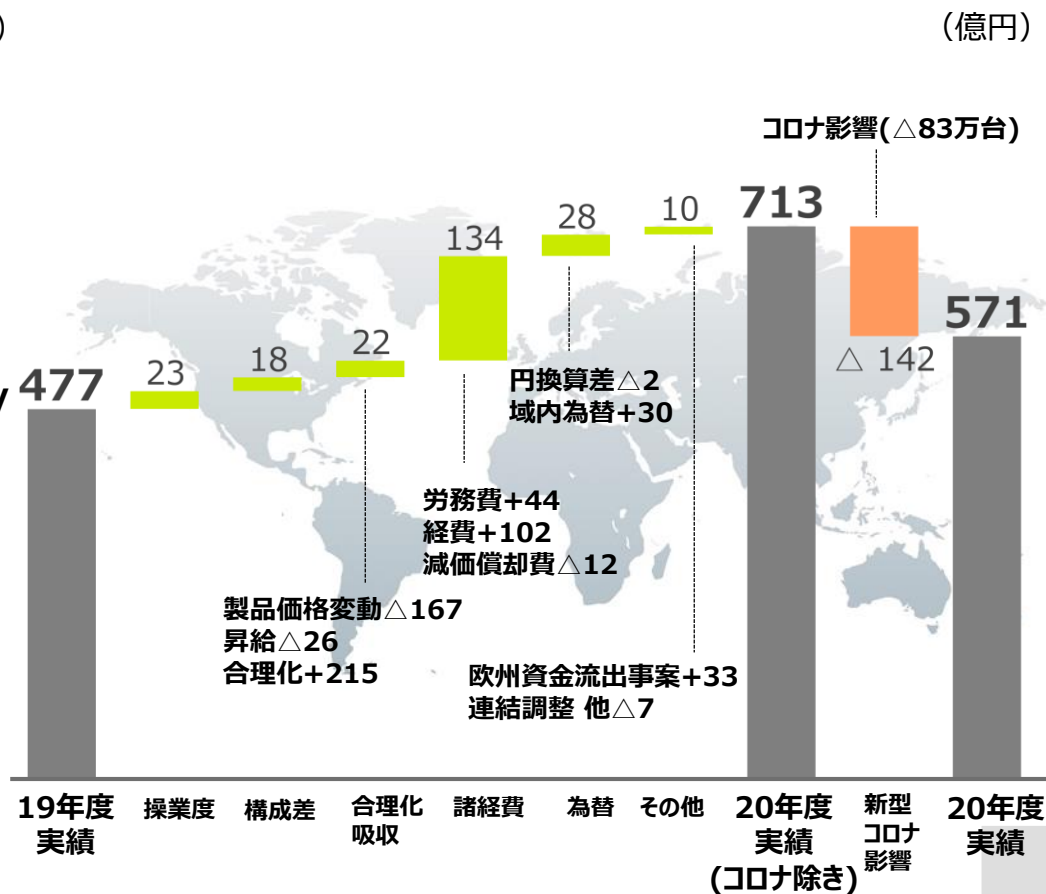
1-3) 2020年度 決算状況 連結 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響による減益要因はあるものの、諸経費の効率化や合理化などの収益確保策を実施し増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



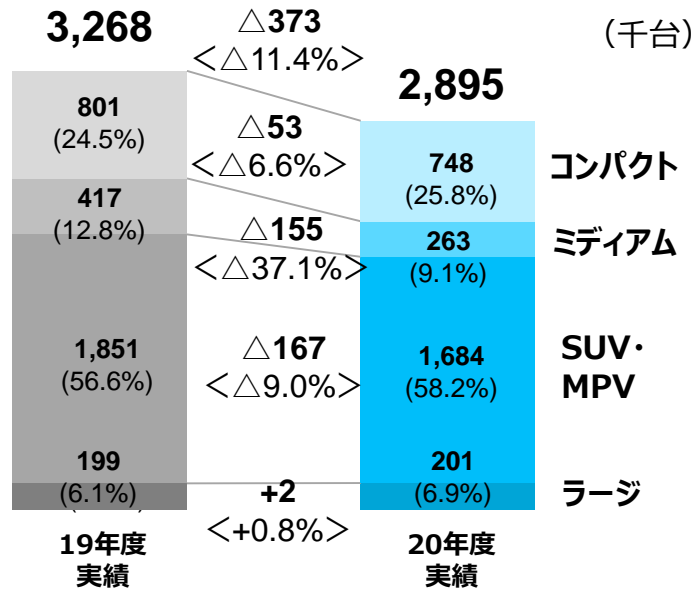
当期の経営成績

	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	13,726	12,721	△ 1,004
営業利益	477	571	93
営業利益率	3.5%	4.5%	-

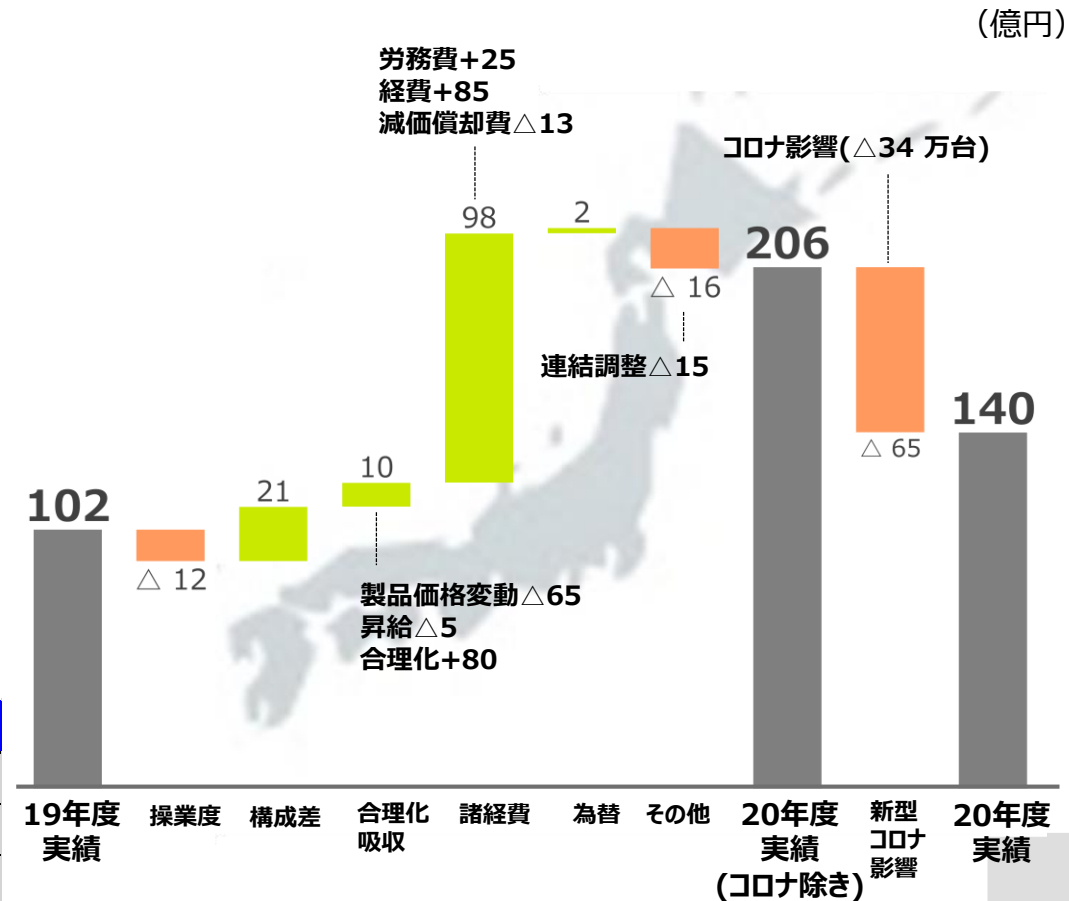
1-4) 2020年度 決算状況 日本 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響による減益要因はあるものの、車種構成変化や、働き方の見直しによる労働時間短縮・経費低減などの諸経費の効率化により増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



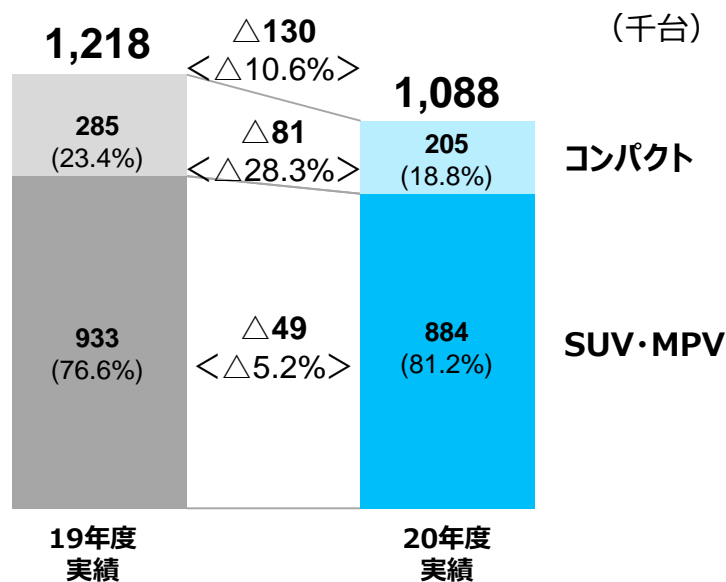
当期の経営成績

	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	7,683	6,996	△686
営業利益	102	140	38
営業利益率	1.3%	2.0%	-

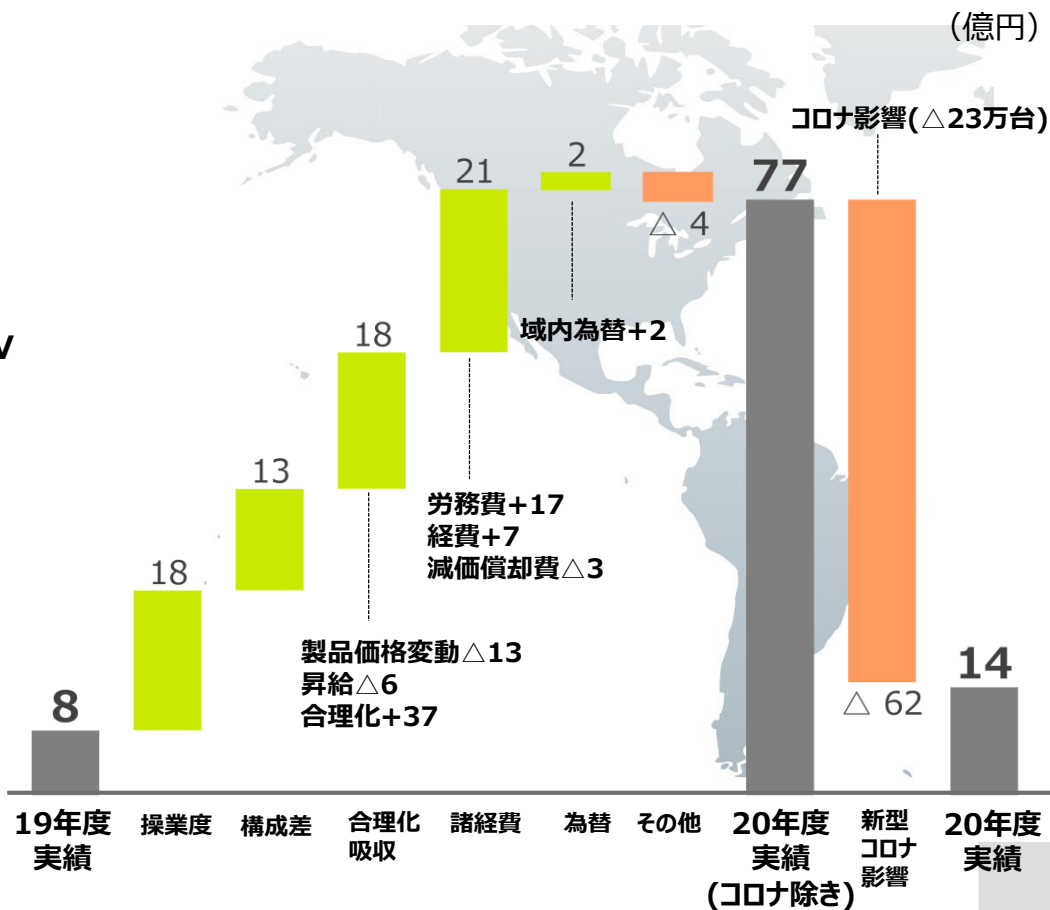
1-5) 2020年度 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

新製品効果や諸経費の効率化により、着実に収益回復

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



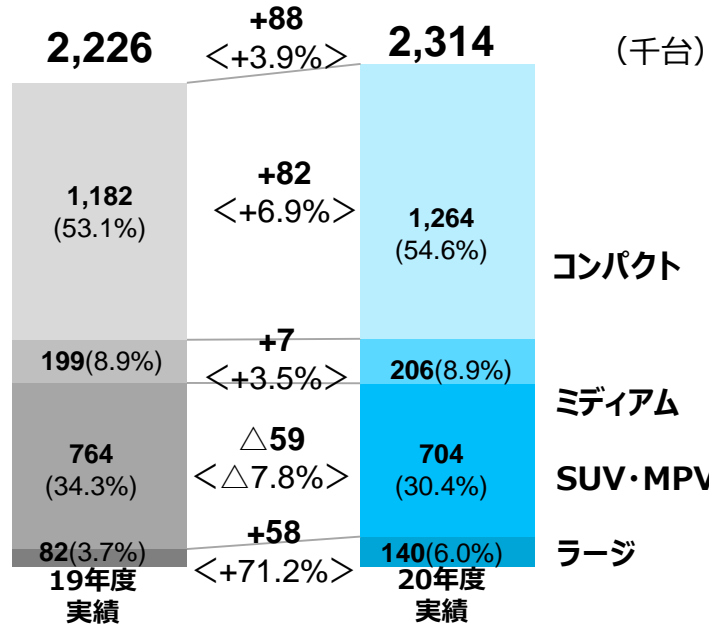
当期の経営成績

	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	2,729	2,460	△268
営業利益	8	14	6
営業利益率	0.3%	0.6%	-

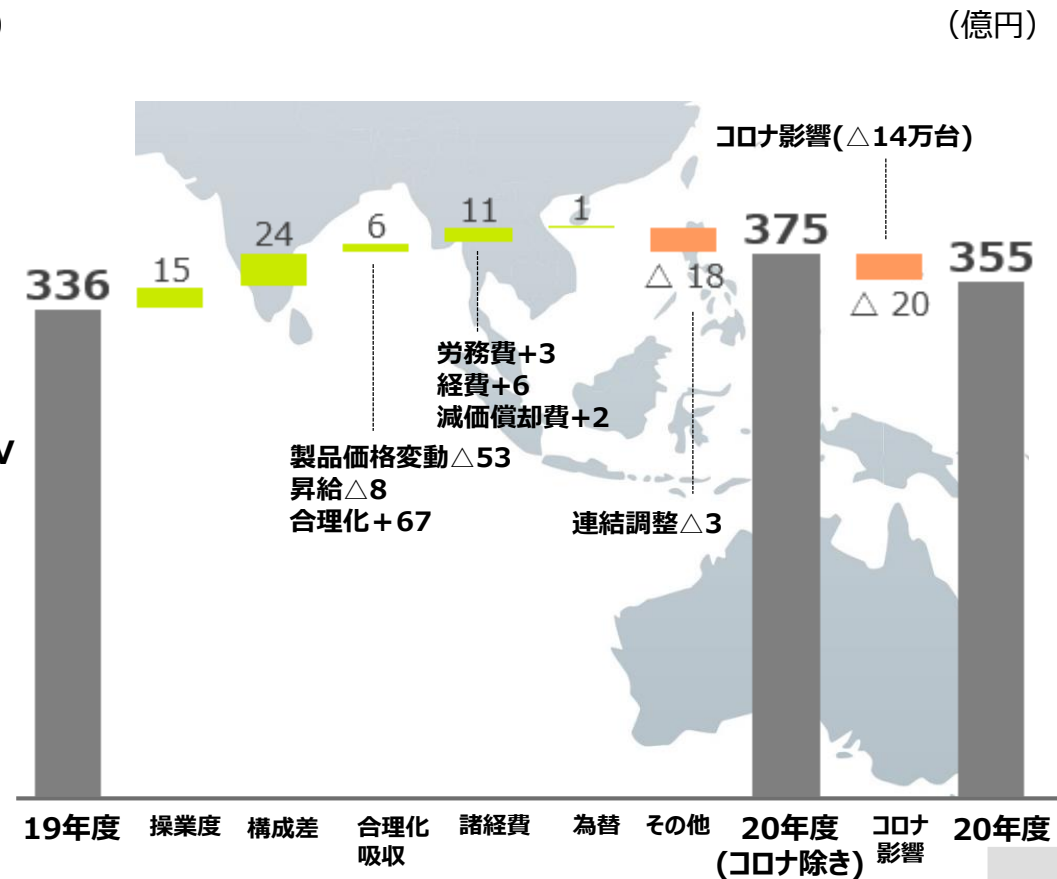
1-6) 2020年度 決算状況 アジア・北アフリカ 売上収益・営業利益

アセアン各国でのコロナ影響はあったものの、中国での新製品効果や諸経費の効率化などにより増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



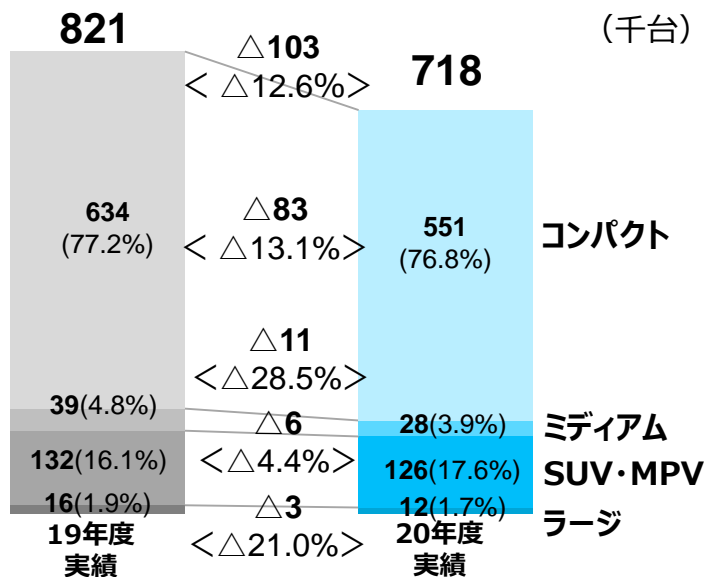
当期の経営成績

	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	3,338	3,242	△96
営業利益	336	355	19
営業利益率	10.1%	11.0%	-

1-7) 2020年度 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響により減益ではあるものの、諸経費の効率化や為替影響などによりコロナ除きでは増益

台数・車種構成の変化

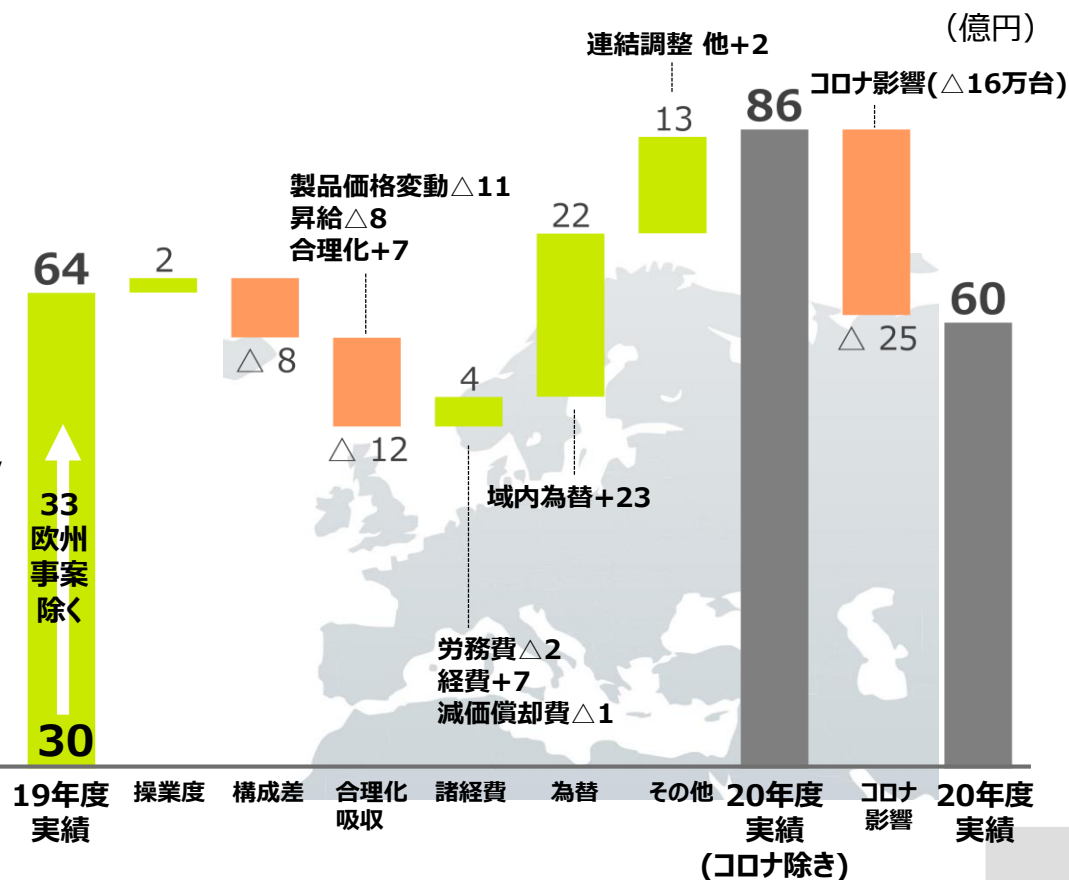


当期の経営成績

(億円)

	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	883	826	△57
営業利益	30	60	30
営業利益率	3.4%	7.3%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



1-8) 2020年度 決算状況 3Q公表時との差異

稼働停止による減産影響はあるものの、更なる諸経費の効率化および営業努力などにより増益

台数・車種構成の変化

3Q公表時	差異	実績	車種
7,061	△45 <△0.6%>	7,016	(千台)
2,714 (38.4%)	+54 <+2.0%>	2,768 (39.5%)	コンパクト
505 (7.2%)	△8 <△1.6%>	497 (7.1%)	ミディアム
3,491 (49.4%)	△92 <△2.6%>	3,399 (48.4%)	SUV・MPV
351 (5.0%)	+2 <+0.6%>	353 (5.0%)	ラージ

当期の経営成績

	3Q公表時	実績	増減
売上収益	12,800	12,721	△ 79
営業利益	470	571	101
営業利益率	3.7%	4.5%	-

営業利益の増減解析

(億円)

	3Q公表時	実績	差異	内容
19年度	477	477	-	
操業度	△170	△180	△10	・減産影響 (震災、寒波影響)
構成差	△75	△25	+50	・車種構成の変化 ・営業努力 他
合理化吸収	79	87	+8	
諸経費	121	140	+19	・更なる効率化
為替	15	28	+13	・直近の円安影響
その他	23	44	+21	
20年度	470	571	101	

目次

1. 2020年度 決算状況

2. 2021年度通期 業績予想

3. 参考情報

2-1) 2021年度通期 業績予想 連結決算概要

(億円)

	20年度 通期実績		21年度 通期予想		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	12,721	100.0%	14,000	100.0%	1,278	10.1%
営業利益	571	4.5%	720	5.1%	148	26.1%
税引前利益	573	4.5%	730	5.2%	156	27.3%
当期利益*	311	2.5%	470	3.4%	158	50.7%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益		166円93銭	251円54銭	84円61銭
為替レート	USドル	106円	105円	△1円
	1-0	124円	125円	+1円

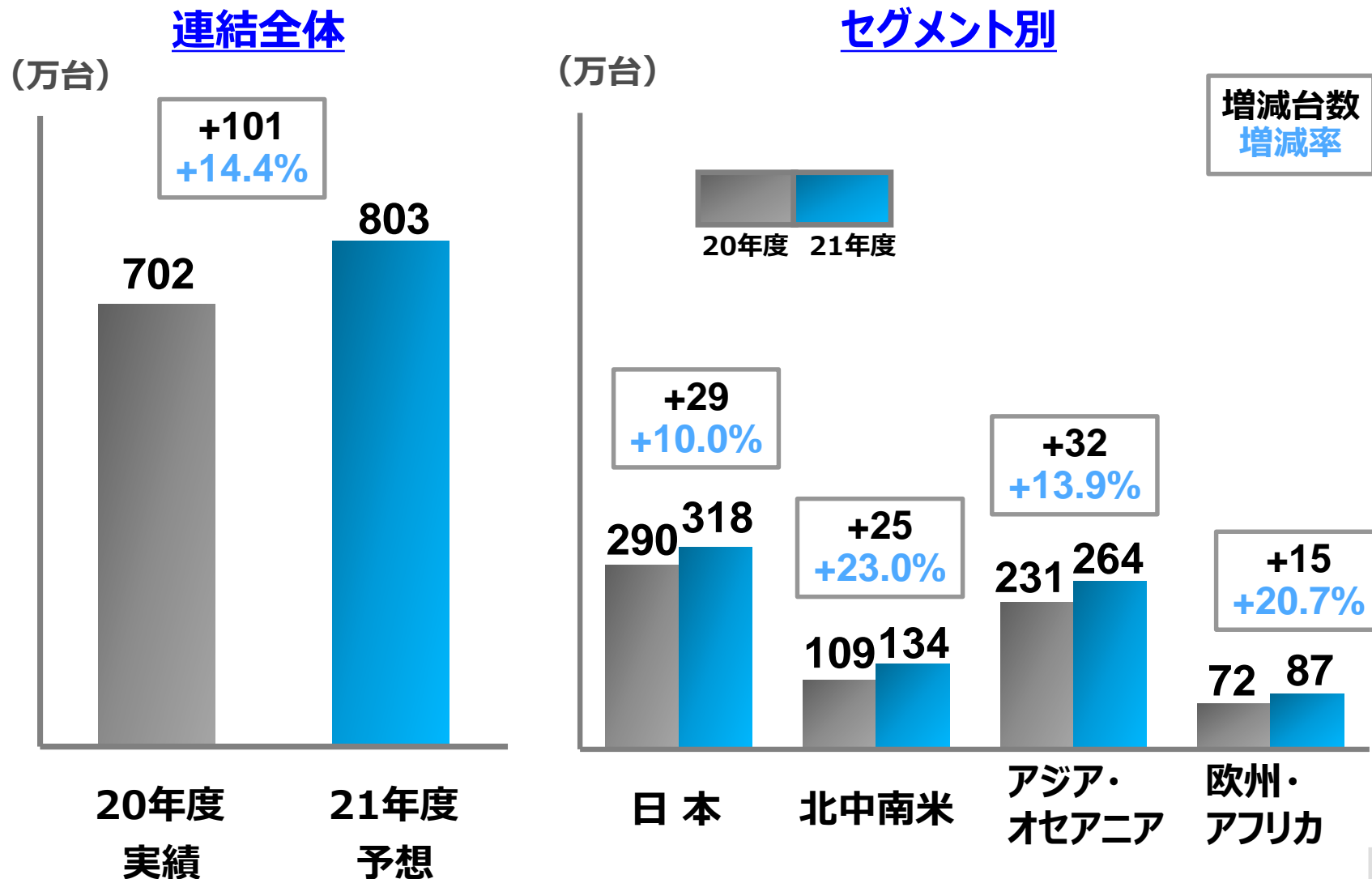
売上収益

- コロナ影響や部品供給問題によるリスクはあるものの、グローバルでの需要回復などにより増収となる見込み

営業利益

- 将来の成長に向けた先行投資などを実施する一方、増産影響やモデルチェンジ等による新製品効果などにより増益となる見込み

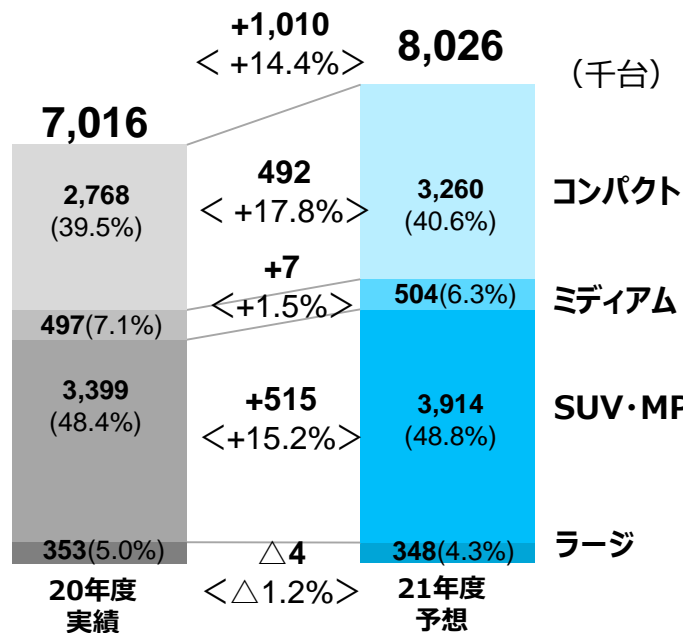
2-2) 2021年度通期 業績予想 地域別シート生産台数



2-3) 2021年度通期 業績予想 連結 売上収益・営業利益

将来の成長に向けた先行投資などを実施する一方、グローバルでの増産影響や、主に日本・中国での新製品効果などにより増益の見込み

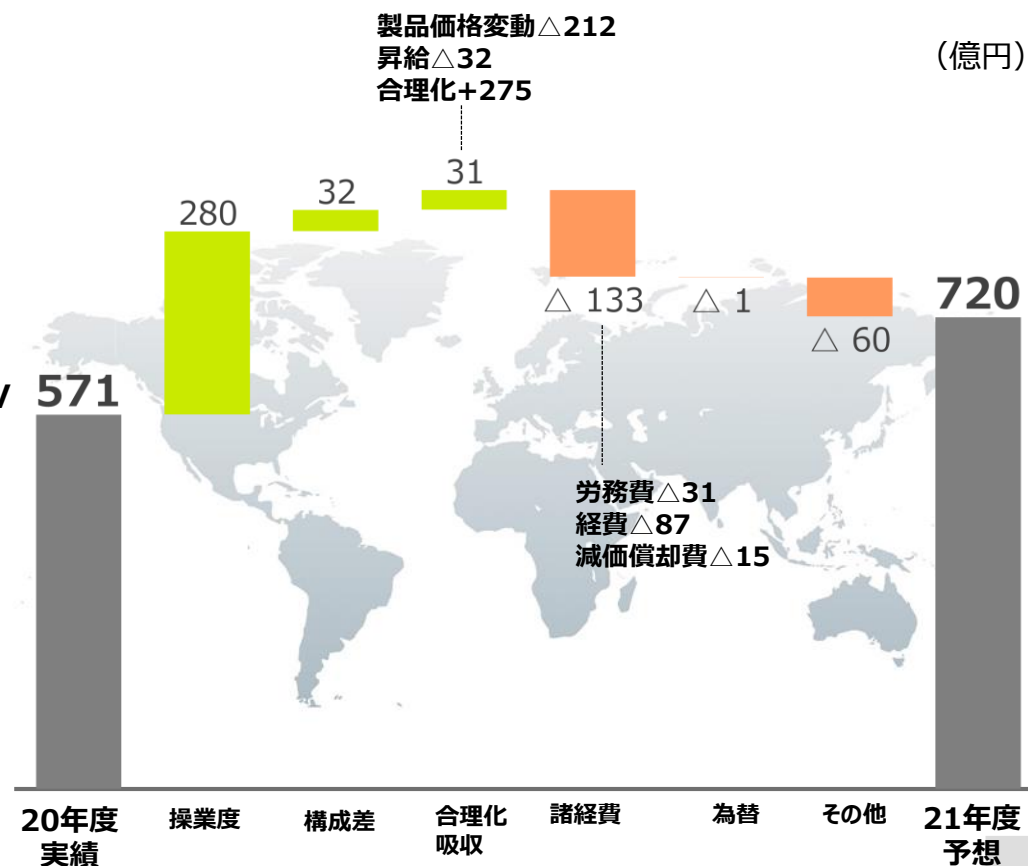
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	2020年度実績	21年度予想	増減
売上収益	12,721	14,000	1,278
営業利益	571	720	148
営業利益率	4.5%	5.1%	-

営業利益の増減解析 (前期比)

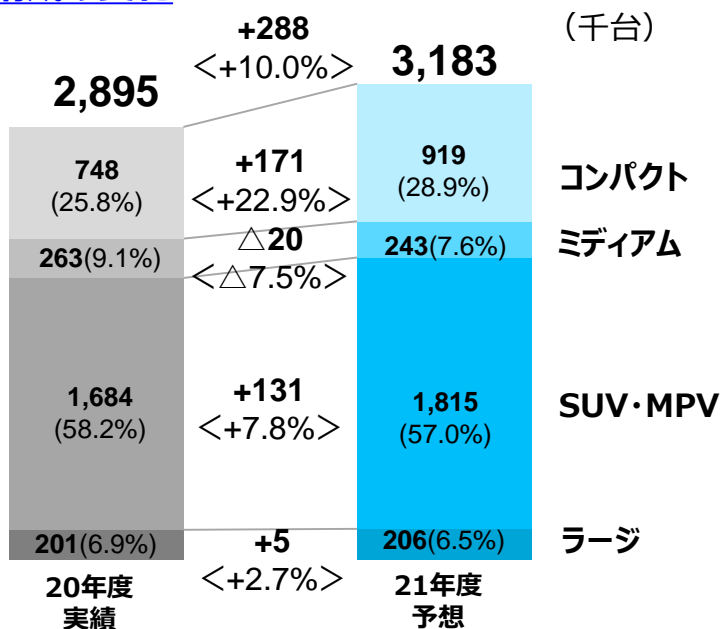


2-4) 2021年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

日本

将来投資などによる減益要因はあるが、増産影響や新製品効果により増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

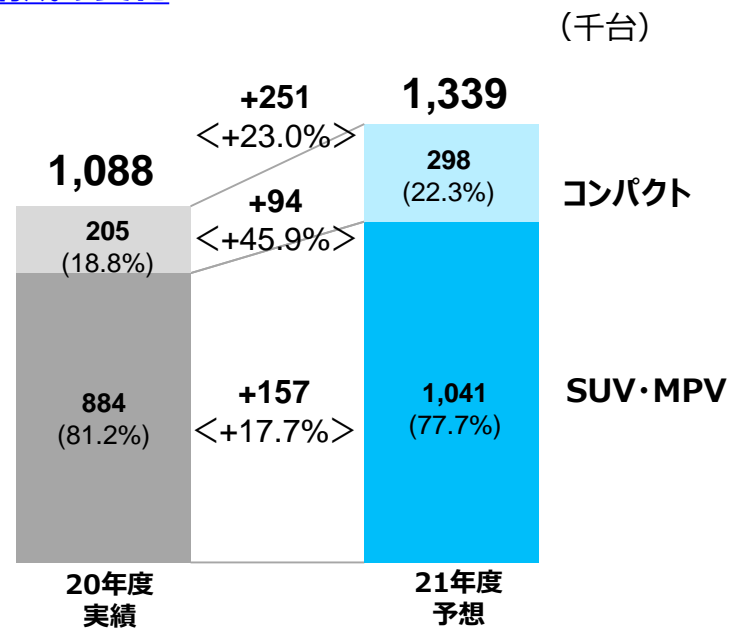
(億円)

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	6,996	7,600	603
営業利益	140	175	34
営業利益率	2.0%	2.3%	-

北中南米

増産影響や、モデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

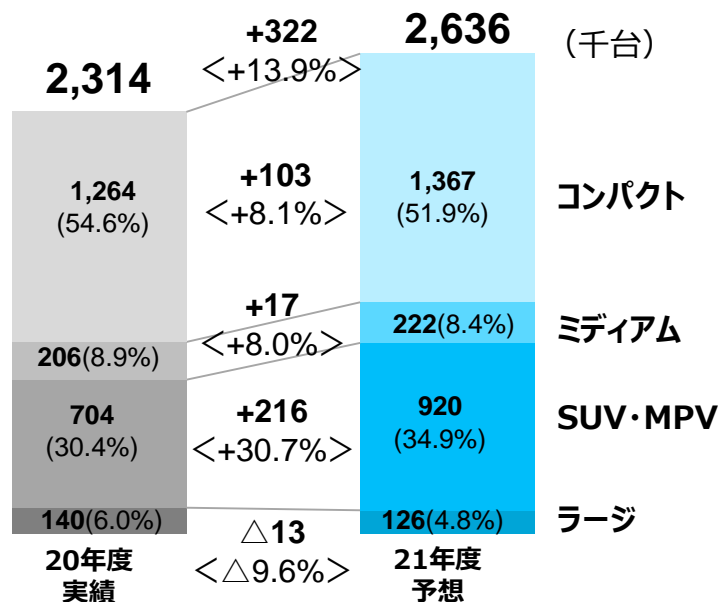
	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	2,460	2,800	339
営業利益	14	120	105
営業利益率	0.6%	4.3%	-

2-4) 2021年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

アジア・オセアニア

増産影響や中国での新製品効果などにより
増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

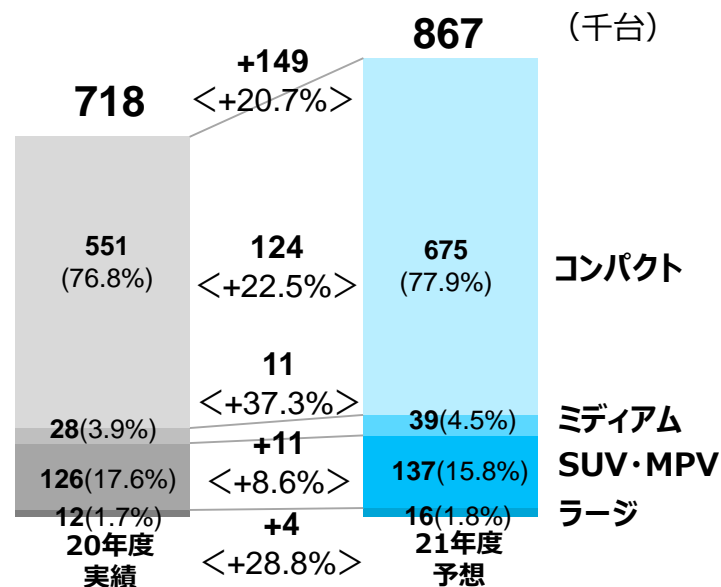
(億円)

	2020年度実績	2021年度予想	増減
売上収益	3,242	3,600	357
営業利益	355	365	9
営業利益率	11.0%	10.1%	-

欧州・アフリカ

諸経費の増加による減益要因はあるものの、
増産影響などにより、ほぼ前年度並みの
営業利益を確保

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

	2020年度実績	2021年度予想	増減
売上収益	826	900	73
営業利益	60	60	△0
営業利益率	7.3%	6.7%	-

2-5) 2021年度通期 業績予想 (上・下別)

売上収益

(億円)

	2021年度		
	上期	下期	通期
日本	3,700	3,900	7,600
北中南米	1,400	1,400	2,800
アジア・オセアニア	1,600	2,000	3,600
欧州・アフリカ	400	500	900
連結全体	6,700	7,300	14,000

営業利益

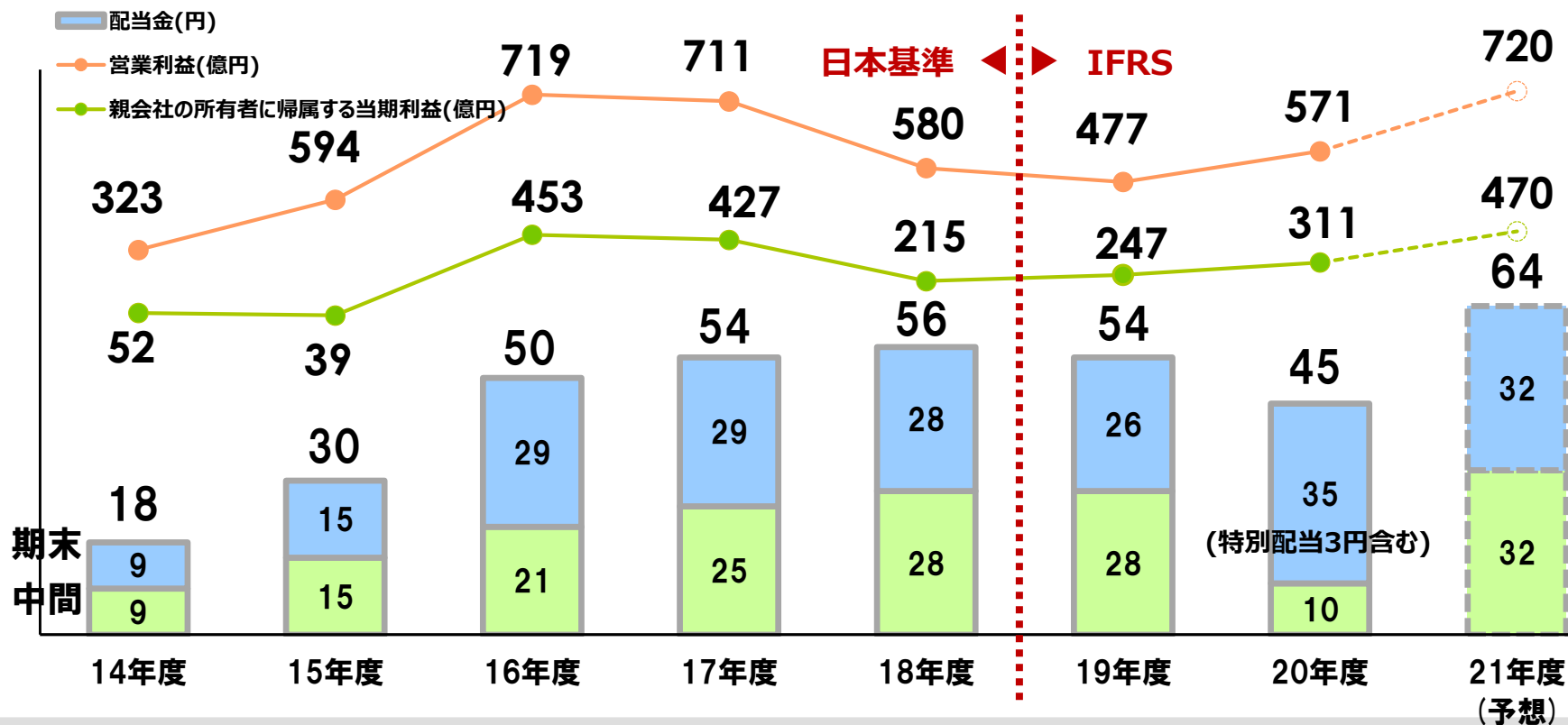
(億円)

	2021年度					
	上期		下期		通期	
日本	60	1.6%	115	2.9%	175	2.3%
北中南米	60	4.3%	60	4.3%	120	4.3%
アジア・オセアニア	165	10.3%	200	10.0%	365	10.1%
欧州・アフリカ	15	3.8%	45	9.0%	60	6.7%
連結全体	300	4.5%	420	5.8%	720	5.1%

2-6) 2021年度 通期予想 株主還元

- 20年度は、株主の皆様への還元として特別配当3円を含む年間45円
- 21年度は、20年度比で19円増配の年間64円を予定

配当金および営業利益、当期利益の推移



2-7) 2020年度 期末決算 総括

【20年上期】

減産状況下における**生産現場での需要変動への柔軟な対応**に加え、**やめる・減らす・変える活動、リモート業務など諸経費の効率化**など、**稼ぐ力を確実に強化**することで、**営業利益は黒字を確保**

【20年下期】

上期での**体質強化**に加え**収益向上策**継続により、**増産効果を最大限享受**すると共に、**営業努力**などもあり、**半期では過去最高の営業利益**

【21年度】

前年緊急対応からの**諸経費増加**は、**新製品効果**等で吸収するなど、**稼ぐ力を確実に強化**すると共に、**2025経営計画目標達成に向けた重点取り組み事項**を**着実に実施**し、**持続可能な成長**を図る

目次

1. 2020年度 決算状況

2. 2021年度通期 業績予想

3. 参考情報

参考1) 連結財政状態計算書の状況(21/3末)

流動資産

4,575億円

5,068億円

- ・操業度回復に伴う売上増による営業債権等の増加

+493

非流動資産

3,231億円

3,389億円

- ・グローバル本社建設に伴う有形固定資産の増加等

+157

資産

8,457億円
(前年度末7,807億円)

負債

4,590億円

4,761億円

- ・コロナ対応による資金調達
- ・操業度回復に伴う仕入増による営業債務の増加

+171

資本

3,217億円

3,696億円

親会社所有者
帰属持分比率

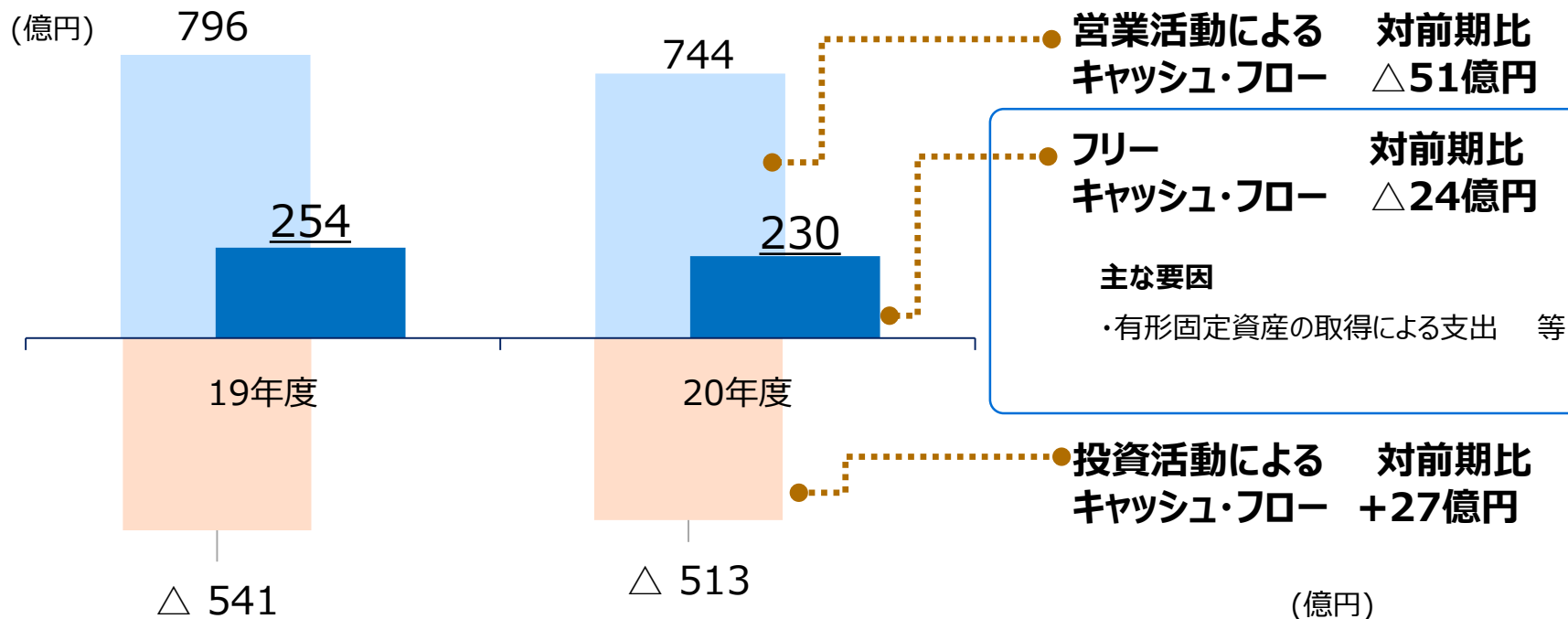
37.3%

39.6%

+479

○ : 対前年度末比(億円)

参考2) 連結キャッシュフローの状況

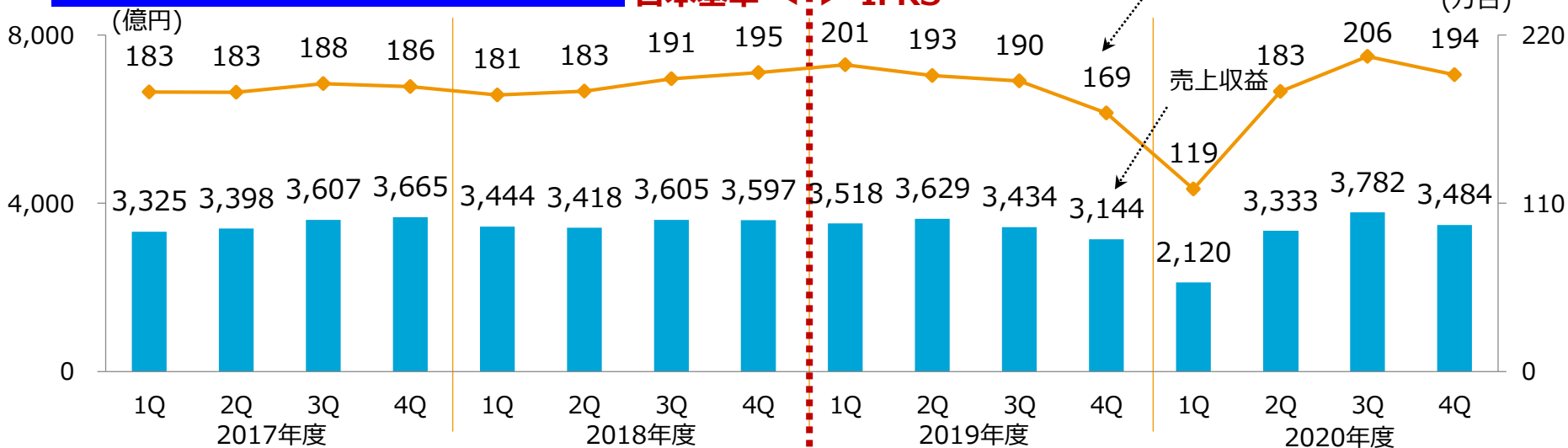


	19年度	20年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	796	744	△ 51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 541	△ 513	27
フリーキャッシュ・フロー	254	230	△ 24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 139	27	167
為替変動による影響額	△ 63	59	123
現金及び現金同等物の増減額	51	318	266
現金及び現金同等物の残高	1,633	1,951	318

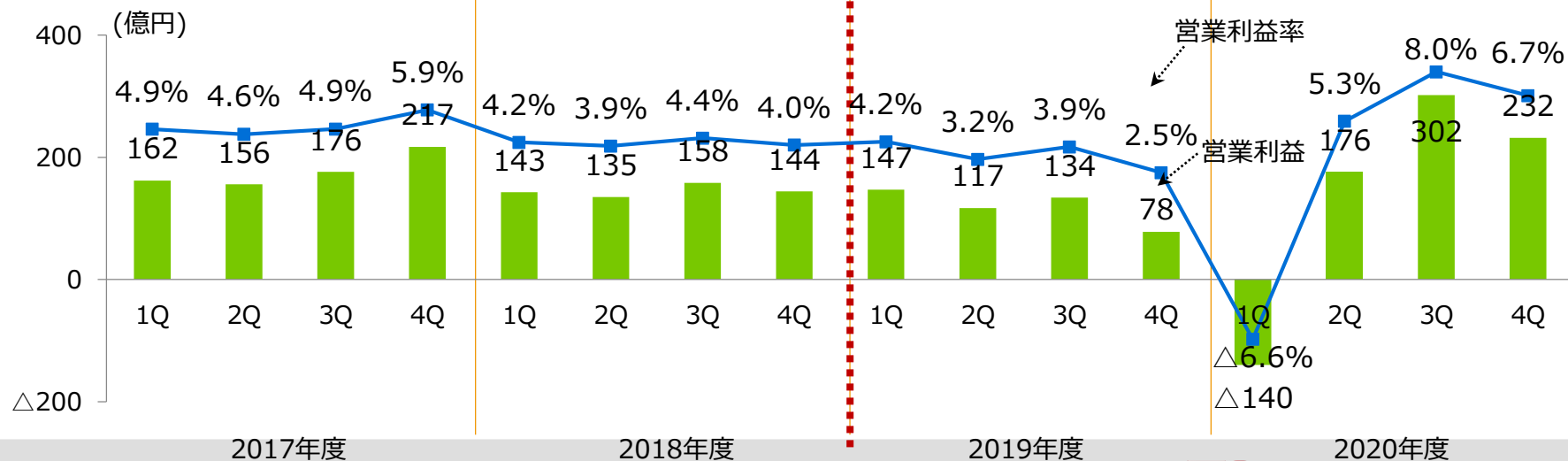
参考3) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

日本基準 ◀ ▶ IFRS

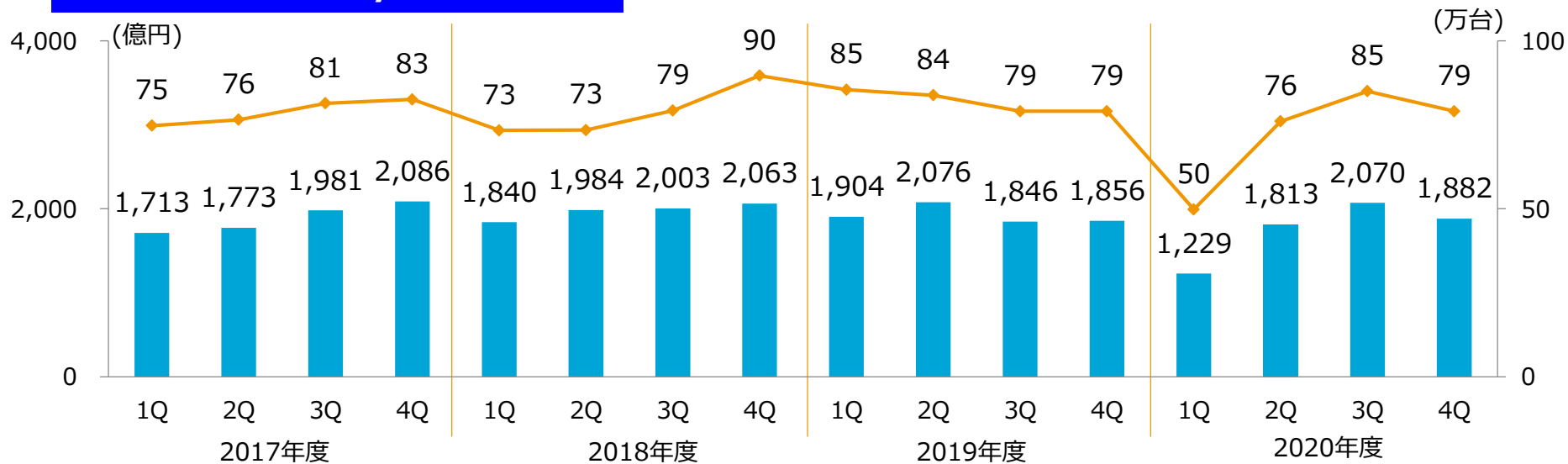


営業利益/営業利益率

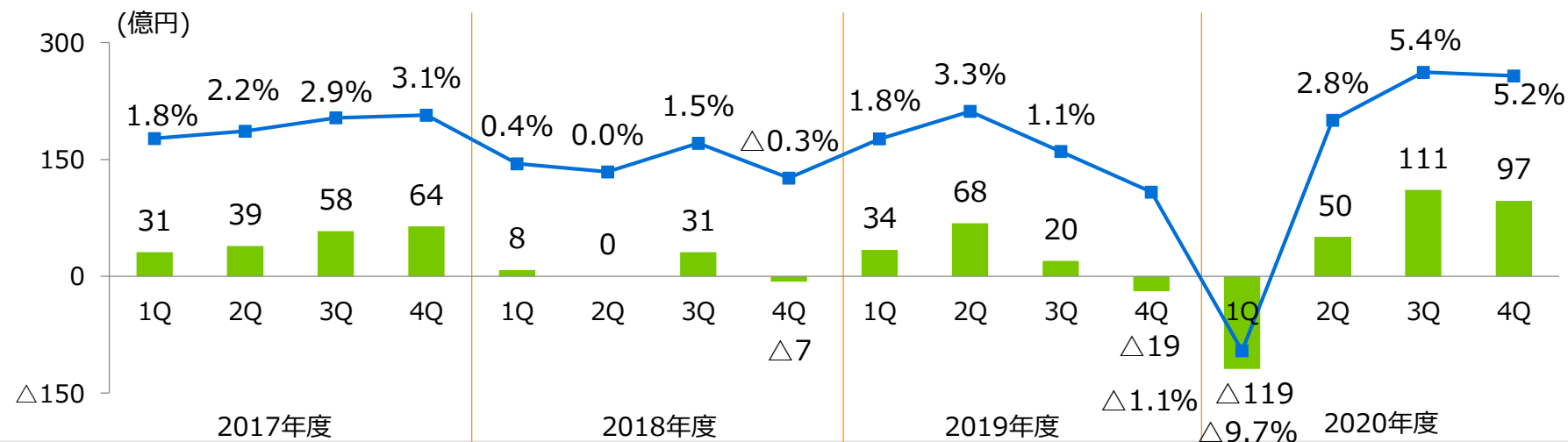


参考4) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

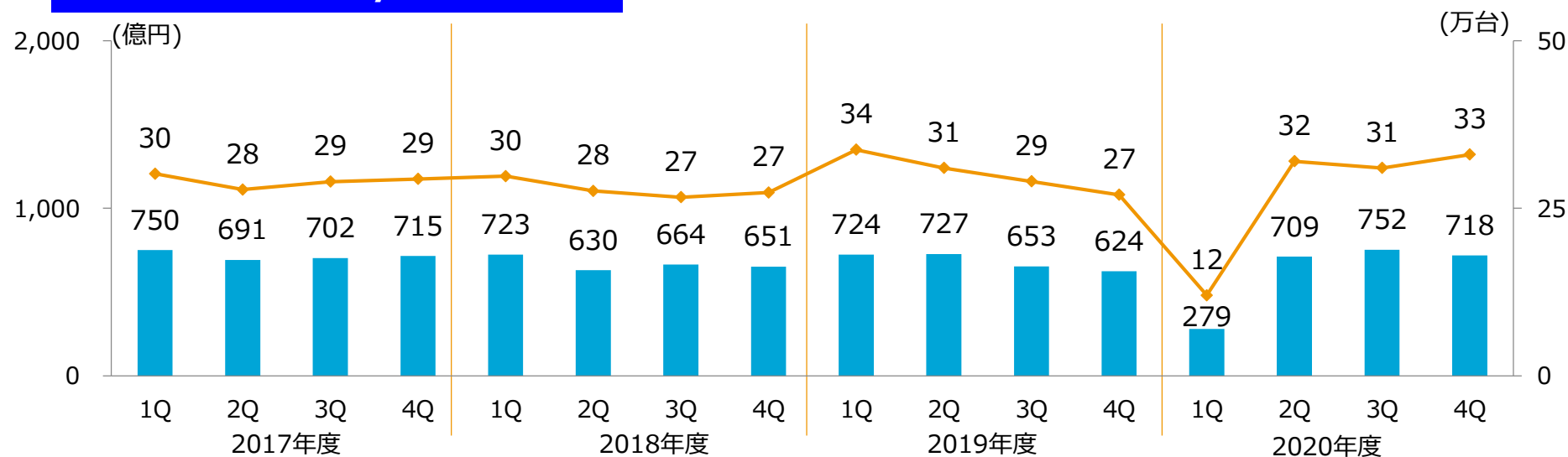


営業利益/営業利益率

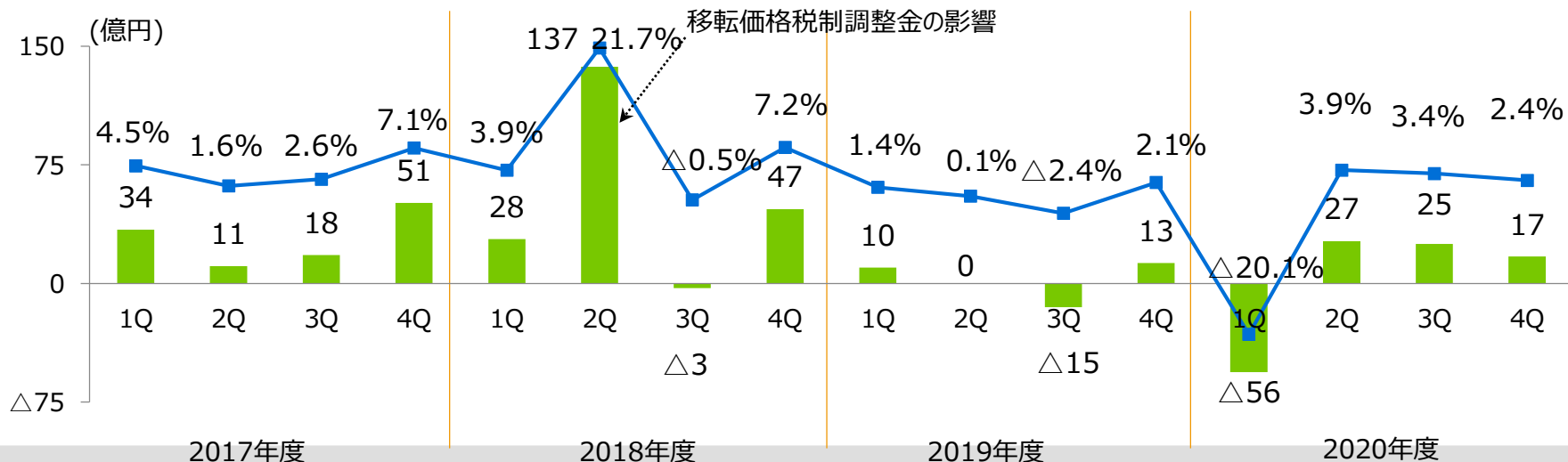


参考5) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

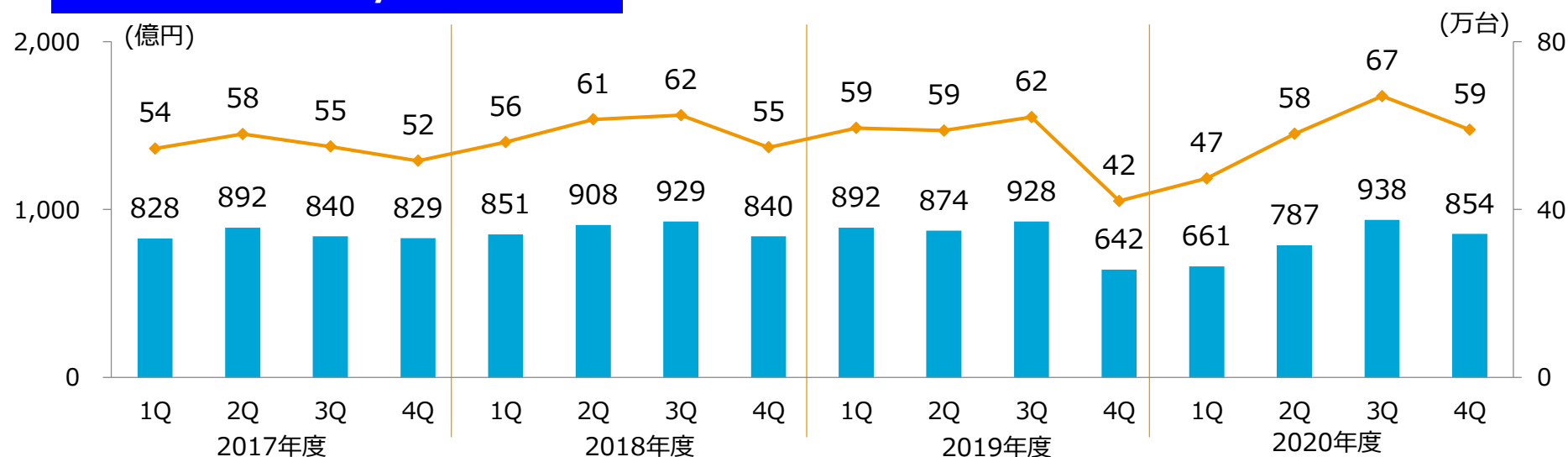


営業利益/営業利益率

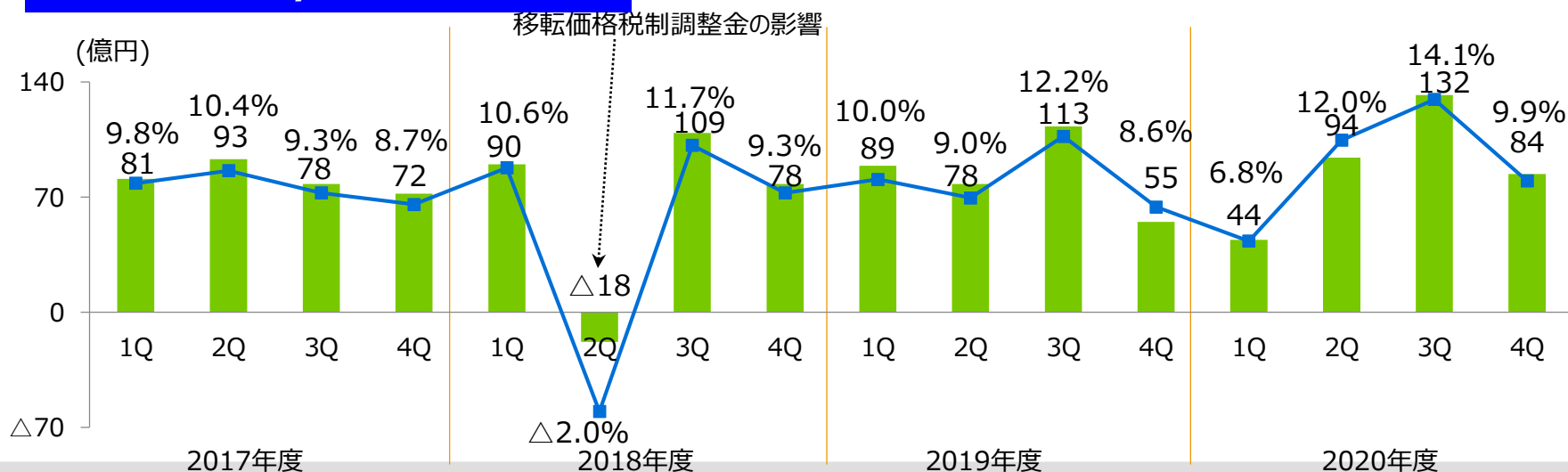


参考6) 四半期推移 アジア・北アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

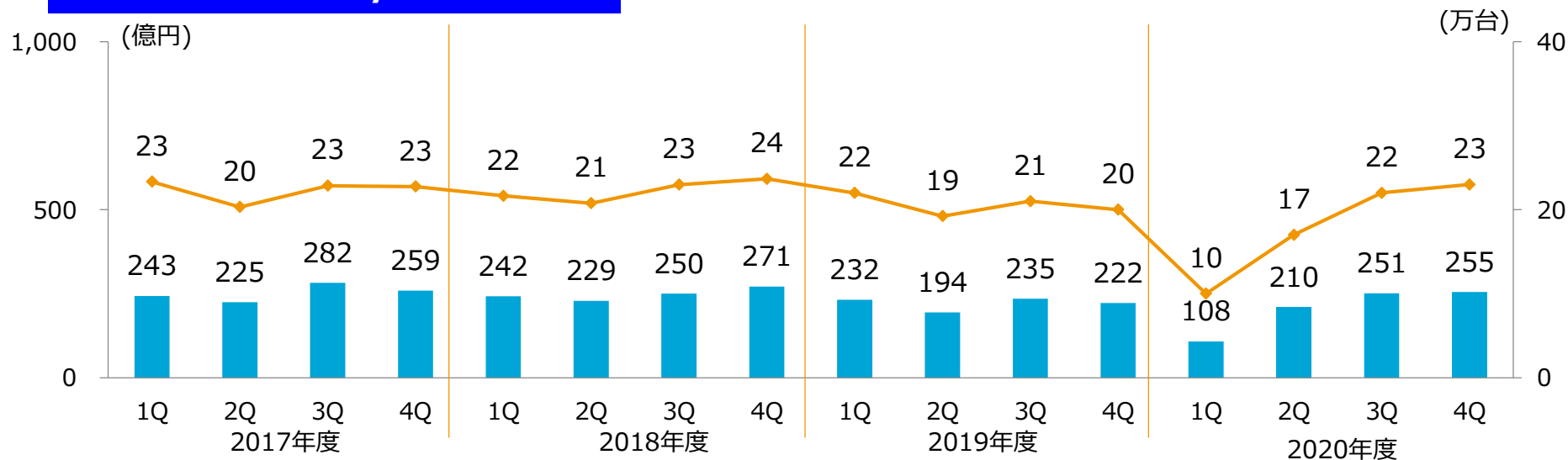


営業利益/営業利益率

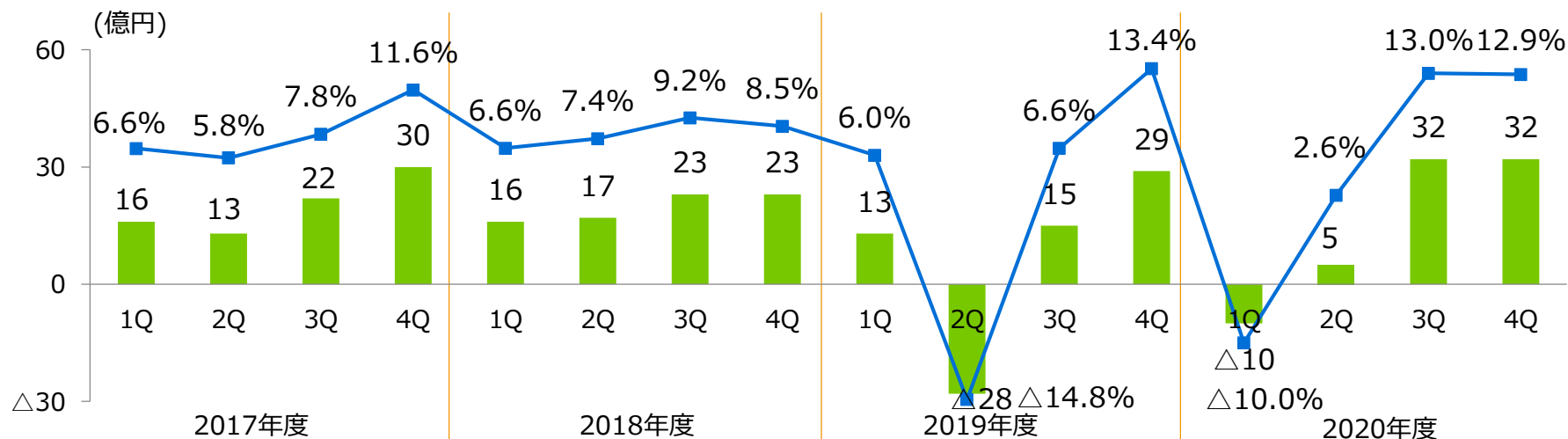


参考7) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益



営業利益/営業利益率





<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。